

総会特集

「建築士の日」 記念事業

2026.9

No. 166

あきた建築士会ニュース



鹿角市指定有形文化財「旧鹿角郡公会堂」(鹿角市)

一般社団法人 秋田県建築士会

鹿角市指定有形文化財「旧鹿角郡公会堂」(建造物)

鹿角建築士会 戸 館 康 博

- 所在地 鹿角市花輪字中花輪 114 - 2
- 年 代 大正5年(1916) 9月
- 概 要 木造平屋建、桎葺(まさふき)。鹿角では珍しい洋風建築。床面積 542㎡

鹿角郡公会堂は、大正5年(1916)9月に大正天皇御大礼記念として新築された。木造平屋建、桎葺の構造を持ち、鹿角地域としては極めて珍しい洋風建築である。床面積542㎡、300人収容のステージ付きホールのほか、3つの部屋を備えていた。郡内文化の殿堂として、各種の行事や催し物会場として使用されてきたが、戦後は花輪公民館のホールとして地域の文化、教育活動の中心施設としてその役割を果たしてきた。その後、昭和57年からは、民俗資料1500点を展示、公開する資料室として利用された。平成3年に鹿角市の有形文化財(建造物)に指定され、平成28年度より改修工事を行い、平成29年11月より市歴史民俗資料館としてリニューアルオープンした。明治時代の洋風建造物を思わせる造りは、県内でも数が少なく極めて貴重なものである。

変 遷

- 大正5年9月23日 天皇即位大礼奉祝記念として落成
- 大正14年11月19日 秋田県立図書館花輪分館が移転
- 昭和12年10月21日 東北六県蚕種業者大会会場
- 昭和57年 民俗資料室開設
- 平成3年3月26日 鹿角市有形文化財指定
- 平成28年 全面改修工事
- 平成29年11月3日 リニューアルオープン



正面外観



展示室



建築当時の外観



建築当時の大ホール

目 次

会 長 挨 拶	…………… 一般社団法人 秋田県建築士会 会長 小田島 誠…	2
定時会員総会	令和 8 年度定時会員総会が開催されました……………	3
	会長式辞…………… 一般社団法人 秋田県建築士会 会長 小田島 誠…	4
功 労 者 表 彰	令和 8 年度通常総会 永年功労者表彰……………	8
新入会員紹介	新入会員からのメッセージ……………	11
建 築 士 の 日	……………	13
活 動 報 告	まちづくり委員会 まちづくり委員会の活動について ……	17
	青年委員会 「建築士の日」親子体験学習 ～つくってあそぼう 親子木工教室～ ……	21
	女性委員会 令和 8 年度 第 35 回全国女性建築士連絡協議会（東京）に参加して ……	22
	令和 7 年度 第 3 回学習会「つまみ細工製作体験」 ……	23
	令和 8 年度 第 1 回学習会 「体が変わると仕事が変わる。建築士のためのケア講座」に参加して ……	24
投 稿 だ よ り	弘前城、曳いてきました ～煉瓦とシードルと前川國男の旅～……………秋田中央建築士会…	25
会 務 報 告	……………	27
地域会だより	……………	28
事務局だより	……………	36
編 集 後 記	……………	42

就任1年を振り返り、次なる未来へ ― 地域の信頼に応える建築士会を目指して



一般社団法人 秋田県建築士会 会長 小田島 誠

会員の皆様におかれましては、日頃より一般社団法人秋田県建築士会の活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。また、厳しい暑さが続いた夏もようやく和らぎを見せ始めるこの季節、皆様にはいっそうご清栄のこととお慶び申し上げます。

私が会長の重責を引き受けさせていただいてから、早くも1年という歳月が経過いたしました。この1年はまさに光陰矢のごとしでありましたが、会員の皆様の温かいご支援とご協力のおかげをもちまして無事に大きな一歩を踏み出すことができましたこと、改めまして心より深謝申し上げます。

この1年間を振り返りますと、本会の伝統を守りつつも、次世代を見据えた課題解決へ向けて精力的に取り組んだ年でした。とりわけ、本県における建築士の高齢化と将来的な担い手不足という深刻な課題に対し、私たちが強く訴え続けてきた「建築士試験制度の改正」に向けた法案が可決・成立したことは、業界の未来を拓く大きな成果であったと感じております。制度改革に深く関わらせていただく中で、秋田の地から全国へ向けて現場の実状と課題を伝え、その声の実を結んだことは、本会にとっても大変意義深い出来事となりました。ご協力いただいた関係各位に深く御礼申し上げます。

また、この1年は県内各地の地域会総会にも出席させていただきました。各地域会では、それぞれが直面する独自の課題や、それに対する会員の皆様の熱い情熱と創意工夫に直接触れることができ、大変身の引き締まる思いがいたしました。地域に根ざし、第一線で活躍されている皆様との対話は私にとってもかけがえのない財産であり、本会の活動の原点はまさにこの各地域会・現場にこそあると深く再認識させられた次第です。

さらに、今年度の7月4日に開催された「建築士の日」記念事業におきましても、各地域会のご尽力によりおかげさまで多数の会員ならびに市民の皆様にご参加いただき、大盛況のうちに成功を収めることができました。建築の魅力や社会的役割を広く地域社会に発信し、次世代へその想いをつなぐ素晴らしい機会となりましたこと、企画・運営にご尽力いただいたすべての関係者の皆様に心より敬意と感謝を申し上げます。

さて、今年度の本会は、これらの成果と法改正という追い風を生かしつつ、より一層の飛躍を目指す重要な期となります。私たちが直面している社会環境は依然として厳しく、資材価格の高騰や深刻な人手不足、さらには自然災害への対応やカーボンニュートラル実現に向けた省エネ性能向上など、建築士に寄せられる社会的要請はこれまで以上に高度かつ多岐にわたっています。

こうした状況を踏まえ、今年度は特に法改正に伴

う以下のような新たな受検環境の周知を取り組んでまいります。

【改正点】

- ①建築士試験の受験機会の拡大（在学中の受験の導入）
 - ・建築士試験（一級、二級・木造）について、卒業を待たずに在学中における受験を可能とする。 ※ 大学・高校等における一定の単位取得と最終学年で卒業見込みであることが条件。
- ②地域を支える二級・木造建築士の資格要件の緩和等
 - ・現在、建築学科等を卒業していない場合は、受験と免許取得に実務経験7年が必要とされているところ、実務経験2年で受験できることとし、（受験前も含めた）実務経験4年で免許を取得できることとする。
 - ・あわせて、二級建築士から一級建築士を目指す場合の資格要件を柔軟化する。 ※ 現在、二級建築士としての実務経験4年が必要とされているところ、二級建築士になる前の実務経験や学歴を組み合わせ、二級建築士としての実務経験を2年に短縮する。
- ③建築設備士の資格要件の合理化
 - ・建築士の仕組みと同様に、建築設備士についても、実務経験は受験時には不要とし、登録時までに積み重ねればよいこととする。これに伴い、実務経験を建築設備士の登録要件とする制度を創設する。

さらに「次世代人材の育成・確保」、そして「地域の安全・安心を支える防災・技術基盤の強化」を大きな柱として取り組んでまいります。若い世代や女性建築士がより一層活躍できる環境づくりを推進し、建築という仕事の魅力ややりがいを未来の世代へ伝える取り組みを強化いたします。同時に、新技術や法改正に迅速に対応できるよう研修事業の充実を図り、会員個々の技術力・専門性の向上を強力に支援してまいります。

建築は、人々の命と暮らしを守る重要な社会的インフラであり、地域独自の歴史や文化を形づくる基盤でもあります。私たち建築士一人ひとりが専門家としての誇りを持ち、地域の皆様から真に信頼される存在であり続けることが何より不可欠です。

今後とも、本部と各地域会がより一層強固に連携し、会員の皆様が誇りを持って活動できる魅力ある建築士会を目指して全身全霊で取り組んでまいります。

結びに臨み、会員の皆様の益々のご健勝とご事業のご発展を心よりお祈り申し上げますとともに、今後とも変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。9月号掲載にあたってのご挨拶とさせていただきます。

令和 8 年度定時会員総会が開催されました

一般社団法人秋田県建築士会の定時会員総会が、令和 8 年 6 月 29 日（月）午後 2 時 30 分より、秋田市の「パーティギャラリーイヤタカ」において開催されました。

開会にあたり、小田島会長が登壇。「昨年度は全国大会や県大会、東北ヘリテージマネージャー大会などを無事に挙行し、地域貢献と会員相互の絆を深める実り多き一年となった」と会員への深い感謝を述べました。続いて、本県建築界が抱える深刻な担い手不足と高齢化の現状に触れ、「今年度は『技術のバトン』の継承を最重要課題に掲げ、資格制度の見直しに向けた要望活動や組織改革を通じ、若い世代が夢と希望を持てる環境づくりを強力に推進していく」と力強く抱負を語りました。

続いて事務局より、令和 8 年 4 月末現在の正会員数 744 名に対し、出席者 66 名、委任状提出者 457 名、計 523 名の出席があり、定款に定める定足数を満たしている旨が報告されました。議長には松本繁氏（秋田中央建築士会）、議事録署名人には佐藤温氏および若松康博氏（ともに秋田中央建築士会）が選出され、議事に入りました。審議では、第 1 号議案「令和 7 年度事業報告および収支決算承認の件」（会計監査報告含む）をはじめ、報告事項である令和 8 年度の事業計画・収支予算について慎重な審議が行われ、すべての議案が満場一致で原案通り可決・承認されました。

午後 4 時からの「式典」では、小田島会長の式辞に続き、長年にわたり本会の発展に寄与された 8 名の方々へ永年功労者表彰が贈られ、その功績に万雷の拍手が送られました。また、ご来賓の鈴木真実様（秋田県議会建設委員長）および土橋吉秀様（秋田県建設部建築住宅課長）より、本会のたゆまぬ地域貢献に対する祝辞と温かい期待のお言葉を頂戴いたしました。



議案審議 松本 議長



監査報告 斉藤 監事

午後4時30分からは、会場を移して待望の祝賀会が賑やかに開催されました。(一財)秋田県建築住宅センター理事長の中野賢俊様による味わい深い祝辞と力強い乾杯の発声で宴がスタート。会場の各テーブルではすぐに笑顔の輪が広がり、久しぶりの再会を喜ぶ声や、地域・世代の垣根を越えた活発な意見交換が行われました。昨年度の事業の思い出話に華を咲かせる一方で、今後の技術継承や地域建築のあり方について熱弁をふるう姿も見られるなど、終始熱気と和やかな雰囲気に包まれました。

宴が最高潮に達する中、締めくくりとして佐藤隆志副会長が登壇。本会の益々の発展と会員皆様の健勝を祈念した力強い万歳三唱が会場全体に響き渡り、大盛況のうちにお開きとなりました。

ご来賓名簿

・秋田県議会 建設委員長		鈴木 真実 様
・秋田県建設部建築住宅課長		土橋 吉秀 様
・(一財)秋田県建築住宅センター	理事長	中野 賢俊 様
・秋田県建設技能組合連合会	会長	佐々木正美 様
・(一社)秋田県建築士事務所協会	会長	村田 良太 様
・(一社)秋田県設備設計事務所協会	会長	小林 健太 様
・秋田県建築物定期報告調査・検査協会	会長	松橋 孝則 様
・(一社)秋田県建築士会	顧問	淡路 孝次 様
・(一社)秋田県建築士会	相談役	石川 成 様
・(一社)秋田県建築士会	相談役	田仲 雅美 様
・(一社)秋田県建築士会	相談役	照井 郁人 様

会 長 式 辞

一般社団法人 秋田県建築士会 会長 **小田島 誠**

本日ここに、令和8年度一般社団法人秋田県建築士会の式典を挙行いたしましたところ、多忙の折、秋田県議会 建設委員長 鈴木真実様、秋田県建設部 建築住宅課長 土橋吉秀様はじめ、多くのご来賓の



皆様、そして会員の皆様方にご臨席を賜り、誠にありがとうございます。また、日頃より本会の活動に対し、多大なるご支援とご協力をいただいておりますことに、心より深く感謝申し上げます。さて、本日の式典におきまして、長年にわたり秋田県建築士会の発展、ならびに地域の建築文化の向上に多大なご貢献をされました会員の皆様の表彰を執り行います。本日、栄えある表彰を受けられます皆様、誠におめでとうございます。これまでの弛まぬご努力とご功績に対し、会員を代表いたしまして、深く敬意を表するとともに、心から

の感謝を申し上げます。皆様が所属される県内8つの地域会は、それぞれの地域の特性に寄り添い、実務の最前線で安全・安心な住まいづくり、街づくりを支えてくれました。今回表彰される皆様のこれまでの歩みは、まさに秋田の建築の歴史そのものであり、私たち後進にとっての大きな誇りであり、道標であります。どうぞ、これからも豊かな知見をもって、本会ならびに地域の未来を温かく見守り、導いていただけますようお願い申し上げます。

いま、私たち建築士を取り巻く環境は、気候変動への対応や環境問題、激甚化する自然災害への備えなど、極めて大きな転換期を迎えています。その一方で、我が秋田県における建築業界は、担い手不足と高齢化という非常に切実な課題に直面しております。現在、県内の建築士の実に4割以上がシニア層となっており、次世代への技術と情熱の継承は、一刻の猶予も許されない最重要課題です。若い世代が建築の世界に夢と誇りを持って飛び込める環境をつくること。そして、本日表彰された皆様が築き上げてこられた、地域の伝統や美しい景観、安全な暮らしを守るための「技術のバトン」を、責任を持って次の世代へ繋いでいくこと。これこそが、今を生きる私たちに課せられた使命であると強く確信しております。本会といたしましても、若手が活躍しやすい環境づくりや、魅力ある建築士会の運営に、なお一層全力を尽くしてまいりたい所存です。

建築は、地域の歴史と人々の営みを形にするものです。本日表彰を受けられた皆様の情熱を胸に、会員一同がさらに一丸となって、技術の研鑽と組織の発展に努めてまいりましょう。結びに、本日表彰を受けられました皆様のこれまでのご功績を改めて讃えますとともに、ご臨席賜りました皆様の益々のご健勝とご多幸、そして秋田県建築士会のさらなる発展を祈念いたしまして、式辞といたします。

式典



式典会場の様子



会長式辞



ご来賓の皆様



物故会員 黙祷



永年功労者表彰者



表彰状授与



表彰状授与



来賓祝辞 鈴木真実 様



来賓祝辞 土橋吉秀 様

祝 賀 会



ご来賓紹介



乾杯



歓談の様子



歓談の様子



歓談の様子



歓談の様子



歓談の様子



全県大会決意表明 能代山本建築士会



万歳三唱

令和8年度通常総会 永年功労者表彰



見 玉 安 広

地 域 会 名 鹿角建築士会
勤務先(名称) 阿部設計
(住所) 鹿角市花輪字上台 109-2
趣 味 スポーツ観戦・晩酌
コ メ ン ト

この度は、永年功労者表彰をいただき、誠にありがとうございました。
 建築士の取得を機に入会してから29年になりました。建築士会の活動を通して、青年委員会の各種事業・スポーツ大会での交流と建築に携わる職域の異なる多くの方々と親睦を深める機会を得られたことに感謝しております。
 4月に先代から設計事務所の事業を引継ぎました。法改正の対応など学びが尽きる事のない日々ですが、気力と体力が続く限り頑張りたいと思います。



坂 本 寿 克

地 域 会 名 大館北秋田建築士会
勤務先(名称) 坂本寿克建築研究所
(住所) 大館市南神明町 15 の 8
趣 味 建築、ガーデニング
コ メ ン ト

この度は、永年功労者表彰を頂きありがとうございます。
 私が建築を志したのは、中学1年の時、友人の自宅の新築現場を見て、中に入らせてもらったのがきっかけでした。どこか他の家とは違う印象があったのですが、友人の父親が建築士で、ご自身で設計されたものでした。それから、街で見かける建築の中に、明らかに設計士もしくは棟梁が工夫している感じのものと、単に技術的に建っている建物があると思うようになりました。私自身はもちろん前者に興味を惹かれて学生時代を過ごしました。
 仕事としてどういう建築を生み出せるかは、人との繋がりや、社会情勢というかなりの運もありますが、その運が来た時に力を出せるように士会からの学びを生かして、自己研鑽を積んでいきたいと思います。それが、今まで私に仕事を与えてくれた方々と地域社会への、建築士としての恩返しになるのではと思っています。



大 高 慎 司

地 域 会 名 能代山本建築士会
勤務先(名称) 大高建設株式会社
(住所) 能代市落合字下大野 77-7
趣 味 ゴルフ、野球観戦
コ メ ン ト

この度は永年功労者表彰を頂き、誠にありがとうございます。
 入会後43年になりますが、その間、特に熱心に活動し貢献してきたわけでもなく大変、恐縮しております。それでも退会せず、今まで続けてこれたのは諸先輩や会員の皆様のおかげであり、深く感謝申し上げます。
 入会して間もない頃に日本海中部地震、その後、東日本大震災等、そして先日の熊本地震と大きな災害が増えています。その度に現地で建築士の果たす役割は非常に大きく大事なものと感じており、常に災害に備え、地域住民の安全安心を考えながら建築の仕事を続けたいと思っています。終わりに建築士会の益々のご発展、会員の皆様のご活躍を祈念いたします。



鈴木 浩 樹

地 域 会 名 秋田中央建築士会
勤務先(名称) 株式会社 鈴木建設
(住所) 秋田市仁井田路見町 3 番 6 号
趣 味 ランニング・ゴルフ

コ メ ン ト

この度は永年功労者表彰をいただき誠にありがとうございました。
 振り返れば 36 年前に 25 歳で建築士会に入会し、61 歳の現在まであった
 う間でした。

いろんな活動をしてきましたが、中でも 4 年前の全国大会はとても心に残
 る出来事でした。完成したてのあきた芸術劇場ミルハスを中心に文化創造
 館・AU にぎわい交流館・アトリオン・そして大交流会のキャッスルホテ
 ルと秋田市中心部にすべての会場がコンパクトにまとまって移動も少なく
 とても分かりやすく、そしておもてなしにみちた全国大会だったなと思ひ
 ます。そしてこの大会に各支部の建築士会の皆さんと一緒に参加できたこ
 とが一生の思い出となりました。

今後も建築士会のため気力を振り絞りもう少し頑張っていきたいと思いますので、
 よろしく願いいたします。ありがとうございました。



工 藤 正 美

地 域 会 名 由利建築士会
勤務先(名称) ワンハウス株式会社
(住所) 由利本荘市石脇字尾花沢 56-103
趣 味 ジェットスキー、スノーモービル

コ メ ン ト

この度は、永年功労者という栄誉ある表彰を賜り、大変光栄に思うと同時に
 身の引き締まる思いであります。

今日まで長きにわたり活動が続けてこられましたのは、建築士会の皆様の
 支えがあったからこそであり、心より感謝を申し上げます。

振り返れば、豊かな街づくり、お客様の安心な家づくりを目標に、建築を
 取りまく環境のなかで共に歩んだ日々でありました。

その中でも、建築士会での活動は私にとって大きな財産となってきました。
 今回の表彰を大きな節目とし、今後も微力ながら建築界の更なる発展と、
 地域社会への貢献に尽力して参りたいと思います。

皆様のこれまでのご厚情に、あらためて御礼を申し上げます。



高 橋 一 輔

地 域 会 名 仙北建築士会
勤務先(名称) 株式会社三浦工務店
(住所) 大仙市長野字小合田 81 番地
趣 味 読書、薪作り

コ メ ン ト

A ターンで帰郷し、職場に顔を出す前に建築士会の門をたたいてから早 27
 年が経ちました。右も左もわからない会活動では、諸先輩会員の皆様から
 ご指導をいただきなんとか今日までこれました。

青年会活動では年 1 回の県大会で他支部との交流、また支部内のイベント
 等見知らぬ人達との新しい出会いの場ありました。親会に移行してからは
 業界の垣根を越えて賛助会員の皆様達とさらなる出会いがありました。

会員勧誘の際、建築士会はどんな会？と、きかれれば「出会いの会」と答え
 ます。見知らぬ人と気がつけば仕事を越えたお付き合いが待っております。
 近年、会員数の減少がとりあげられておりますが、腰が曲がっても、もう
 こなくていいよ、といわれるまでこの会でウロウロする覚悟でございます。



北 嶋 清 美

地 域 会 名 横手建築士会
勤務先(名称) 有限会社 大嶋建築設計事務所
(住所) 横手市婦気大堤字婦気前 272 番地 1 ベルウッド 201
趣 味 果実酒作り

コ メ ン ト

この度は建築士会永年功労者の表彰を頂き、ありがとうございました。卒業後体調を崩すなどいろいろありましたので、建築士会に正式に参加したのは、今の設計事務所に勤めてからになります。自分ではまだそんなに経ってはいない感じがしております。

建築士会に入ったことで、横手市増田の重伝建地区の修理に携わったり、いろんな建物を見学することができました。大変なこともあります。凄く有意義な時間を過ごさせてもらっています。

高校生や中学生のインターシップ受け入れや、増田まちなみ研究会のワークショップなどにも参加をしていますので、若い人たちにも建築の面白さを少しでも教えられたらと考えています。

近年会員減少の中でありますので、諸先輩方にもまだまだ頑張っていただし、自分も士会に少しでも貢献できればと思っております。



佐 藤 隆 志

地 域 会 名 湯沢雄勝建築士会
勤務先(名称) 有限会社 佐久組
(住所) 湯沢市愛宕町二丁目 2-41

趣 味 映画鑑賞

コ メ ン ト

このたびは、永年功労者表彰という名誉ある表彰を受け、心より感謝申し上げます。これもひとえに士会会員の皆様との出会いとご指導、ご支援のおかげと、改めて感謝しております。現在建築業界は、人手不足や技能の継承、資材価格の高騰など様々な課題を抱えています。一方で建築士に求められる役割はますます大きくなっています。これからは、今までの経験を次の世代に伝えながら、時代の変化にも柔軟に対応し、地域の安全、安心とより豊かな暮らしを支える建築の発展に、微力ながら貢献していきたいと思います。今回の表彰を励みとして、これからも皆様と力を合わせ歩んでまいります。本当にありがとうございました。

新入会員からのメッセージ

正 会 員



大館・北秋田建築士会
齊藤 祐一

勤務先：株式会社恒谷汲川建築設計事務所

この度、ご入会させていただきました斉藤祐一と申します。

活動を通して各地域の方や様々な職種の方との情報交換や交流を深めながら自己研鑽並び、日々の仕事に役立てたいと思います。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

秋田中央建築士会
池田 早希

勤務先：株式会社 小畑設計事務所

はじめまして。この度入会しました池田早希と申します。

現在女性委員会を中心に活動に参加していますが、女性建築士の皆様の明るさとパワーに毎回良い刺激をいただいております。

お手伝いとして参加した親子体験学習「気持ちのいい家つくろう IN 仙北」ではお子さんの製作意欲の高さと一生懸命な姿に私もつい夢中になり時間を忘れて没頭していました。満足そうな顔のお子さんをみて、少しは力になれたかなとホッとしております。建築士として役に立てたと思えた良い機会になりました。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



秋田中央建築士会
呉宮 彩奈

勤務先：株式会社 沢木組

この度ご入会させていただきました呉宮彩奈と申します。

現在は、現場技術者として様々な建築物に携わっています。

日ごろからたくさんの方々に来ていただいて、感謝しかありません。

まだ、知識・経験ともに浅く、皆様にはご迷惑おかけしておりますが、精一杯頑張りたいと思っております。

ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。



秋田中央建築士会
徳原 和

勤務先：徳真建設株式会社

初めまして、徳原和と申します。地元に戻ってきて 10 年ほど経ちました。

会社では主に施工管理の仕事をしています。

建築士会での交流を通して、建築に関する知識を深めると共に、視野を広げていければなと思っています。

これからどうぞ宜しくお願いします。



秋田県建築士会
田中 恵子

勤務先：（一財）秋田県建築住宅センター

昨年4月に仙台市から秋田市に越してきました。秋田は初めての土地でしたが、躍動感の有る竿燈まつり、千秋公園の夜空を彩る花火、男鹿半島の海やにかほ市の元滝などの自然に触れ、秋田の豊かな風土に深く魅了されました。また、新鮮な海の幸や山の恵みといったおいしい食べ物にも日々感動しています。この度、建築士会に入会し、諸先輩方や仲間と繋がれることを大変心強く感じております。未熟者ではございますが、秋田の素晴らしい文化や気候風土に寄り添い、地域に貢献できるよう日々の仕事に励んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

秋田中央建築士会
佐藤あかり

勤務先：（一財）秋田県建築住宅センター

この度、入会させていただくことになりました、佐藤あかりと申します。建築士会の活動を通じてさまざまなことを学び、知識や経験を深めながら、今後の仕事にも生かしていければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



仙北建築士会
斉藤 稔季

勤務先：斉藤稔季建築設計事務所

今建築の専門学校を卒業後、大手ハウスメーカーの子会社へ就職し、建築の基本から学び始めました。7年を経て地元の工務店へ転職し、設計、現場監理、見積、発注、積算、施主さんとの応答、住宅に関わる業務を多岐にわたり学びました。その後、物心ついてからの夢である独立（フリーランス）をすることができ、自分の設計事務所を持つことができました。

独立してからの日は浅く、まだまだ新参者ではありますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。余談なのですが、現在一級建築士製図試験を受験中で、今年（令和8年）が角番なので、今年こそリベンジして絶対合格したいと思います。脱 1.5 級建築士！！笑

以上です。よろしくお願いいたします。

◆令和8年度 秋田県建築士会「建築士の日」

記念事業 実施報告書◆

建築士の活動を広く社会にアピールし建築士資格の地位向上に繋げていくことを目的に7月1日を「建築士の日」とし、全国一斉に記念事業が展開されました。当県においては、次のとおりの各事業を実施いたしました。

記

◇主催：（一社）秋田県建築士会 事業委員会 協力：秋田中央建築士会

◇日時：令和8年7月4日（土）

◇会場：秋田市民交流プラザ アルヴェ 2階 多目的ホール

◇「建築士の日」記念事業実施内容

1）親子体験学習（青年委員会担当） ※担当：大館北秋田建築士会 青年委員会

・10：00～12：30

・ミニテーブルの組み立てキットを製作

※杉材を事前加工し、親子で組立を行う補助を実施

◎参加者：親子39組

2）記念講演

・13：30～14：50 《CPD2単位》

「街の誘惑 ～マチアルキから見る街の楽しみ～」

講師 齋藤 一洋（さいとう かずひろ）氏



講師プロフィール

前 秋田市企画財政部長（現職 市立秋田総合病院 理事 兼 事務局長）

2010年秋田市企画財政部企画調整課配属、2013年から県市連携文化施設整備と芸術文化ゾーンを担当し、市民力による文化創造プロジェクトを進める。2022年から企画財政部長となり、2026年3月秋田市を役職定年・退職。

※プライベートでは、自称「街の翻訳家」。徒歩と自転車を中心に、路上観察、建築探偵、坂道散歩など、マチアルキを通して「マチアソビ」を楽しんでいる。

・14：50～15：05

地域実践活動発表 秋田中央建築士会青年部

「秋田県立体育館 アーカイブ事業」

◎聴講者：72名（※一般参加者14名）

3）建築相談会

・10：30～13：00

・相談員：建築住宅センター職員、及び事業委員

◇建築セミナー・建築相談会◇



地域実践活動発表

建築相談会



◆親子体験学習◆





◆「建築士の日」記念事業 第2部：会員親睦事業◆

「建築士の日」記念事業に合わせて、会員親睦事業として今年で4回目となる地域対抗ボウリング大会が開催されました。

◇地域対抗ボウリング大会 於：ロックンボウル（秋田市広面）

・16：00～18：00

・担当：秋田中央建築士会事業委員会

◇懇親会

・18：30～ 於：DINING SHU ダイニング集（秋田市中通）

ボウリング大会には各地域会から12チーム、総勢50名が参加し熱い戦いが行われました。一人2ゲームの合計で争われ、女性には40点のハンディが与えられました。

結果は、秋田中央①チームが初優勝し、大館北秋田①チームの連覇を阻むこととなりました。

【成績】

団体の部 優勝 秋田中央①チーム
準優勝 大館北秋田①チーム
第3位 大館北秋田②チーム

個人の部 第1位 三浦 祥平（大館北秋田②）
第2位 斉藤 英人（仙北）
第3位 能上 崇（秋田中央→由利助っ人）
第4位 熊谷 昌剛（大館北秋田①）
第5位 武藤 寿（秋田中央）

ボウリング大会終了後、表彰式を兼ねた懇親会が開催されました。



団体優勝 秋田中央①チーム



個人優勝 三浦祥平さん



まちづくり委員会

まちづくり委員会の活動について

(一社) 秋田県建築士会 まちづくり委員長 小 原 正 明

令和8年度の事業計画や建築士会連合会・東北ブロックまちづくり委員会の活動予定等をお知らせします。事業計画に基づく取組みの充実を図りますので、会員の皆様にも活動の促進や情報提供をお願いいたします。

【まちづくり委員会令和8年度事業計画】

- 1 まちづくりに関する諸会議、講演会、事業等の開催及び参画
- 2 地域歴史文化遺産保全活用推進員（ヘリテージマネージャー）の活動支援
- 3 各まちづくり活動及び成果発表の支援

1 まちづくりに関する諸会議、講演会、事業等の開催及び参画

当委員会は、地域におけるまちづくり活動への参画、企画支援の推進、建築士会連合会のまちづくり活動と連携を図ることにより、地域社会へ貢献することを目的としています。

(1) 「第68回建築士会全国大会「ぐんま大会」まちづくりセッション」への参加促進

各セッションは、建築士・建築士会による地域に根ざした日頃の活動成果の発表・交流の場として開催され、発表やパネルディスカッションのほか、全国各地の建築士の仲間との意見交換が行われています。

〔令和6年度 鹿児島大会における当会の登録者数とセッション参加人数〕

登録者56、青年4、女性5、街中0、福祉1、防災1、景観1、木0、木賞0、歴史13、環境0

〔令和7年度 おおさか大会における当会の登録者数とセッション参加人数〕

登録者68、青年16、女性0、街中0、福祉1、防災1、景観1、木0、木賞0、歴史13、環境0

「おおさか大会」にあたり、参加呼掛けを行いました。歴史セッションを除き少数に留まり、貴重な機会を逃す結果となりました。今後、呼掛けだけでなく、参加者が増える方策を検討します。

・令和8年10月16日（金）：第68回建築士会全国大会「ぐんま大会」まちづくりセッション（高崎市）

セッション①：テーマ「絹の国の歴史と建築文化を未来へつむぐ」

セッション②：テーマ「市民・企業・専門家・官の連携によるまちなか再生」

(2) 全国まちづくり会議への参加促進

「第34回全国まちづくり会議inみやぎ」に連合会委員の小原正明委員長のほか、委員長代理の佐々木昭仁副委員長、佐々木展氏、佐々木政幸氏、松谷一広氏の4名が出席し、女川町での被災建築物応急危険度判定活動の体験談報告を行いました。体験談の概要については、後掲のページをご覧ください。

・令和8年1月30日（金）～31日（土） 第34回全国まちづくり会議inみやぎ（仙台市、女川町等）

今年度は連合会委員の小原正明委員長のほか、京都三条通りの歴史まちづくりがテーマであるため、歴史部会地域リーダーの松塚智宏副委員長が委員長代理として出席する予定です。

・令和9年2月11日（木）～12日（金）：第35回全国まちづくり会議in京都（京都市内三条通周辺）

テーマ：「通りをまちづくりの場としてとらえる」

－京都三条通をコミュニティを進化させ、豊かなまちづくりの場として育てる取組み－

来年度は、第11回まちづくり大賞「尾道空き家再生プロジェクト」受賞の尾道で開催します。

・令和10年1月28日（金）～29日（土）：第36回全国まちづくり会議in尾道（広島県尾道市）

テーマ：尾道におけるフルスペックの空き家活用

(3) まちづくり委員会の開催、連合会まちづくり委員会等への参加（全国大会・まちづくり会議を除く）

令和8年4月11日（土）：2026年北海道建築士会まちづくり会議（WEB）

令和8年5月20日（水）：秋田県建築士会第1回まちづくり委員会（R8事業計画）（WEB）

令和8年5月29日（金）：秋田県建築士会第1回理事会（R7事業報告）（秋田市）

令和8年6月5日（金）：NPO秋田バリアフリーネットワーク30周年記念講演会（秋田市）

令和8年6月17日（水）：連合会福祉まちづくり部会・観光庁との意見交換（WEB）

令和8年6月26日（金）：第2回建築プロジェクトの当事者参画を推進するセミナー in豊中（WEB）

令和8年7月16日（木）：連合会第1回災害対策委員会（WEB）

令和8年7月30日（木）：連合会景観・空き家（街中）・福祉まちづくり3部会合同会議（WEB）

令和8年8月5日（水）：連合会第1回まちづくり委員会（東京都）

令和8年9月上・中旬：連合会東北ブロック会第1回まちづくり委員会（WEB）

令和8年9月中・下旬：秋田県建築士会第2回まちづくり委員会（R8事業計画）（WEB）

令和8年9月下旬：秋田県建築士会第3回理事会（R8事業計画）
 令和8年10月15日（木）：第14回全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会総会（前橋市）
 令和8年10月18日（日）：重要伝統的建造物群保存地区選定50周年記念シンポジウム（仙北市角館）
 令和8年11月7日（土）：令和8年度あきたヘリテージマネージャー協議会総会（能代市）
 令和8年11月13日（金）：連合会東北ブロック会第2回まちづくり委員会（青森県黒石市）～14日（土）
 令和8年11月28日（土）：東北ヘリテージマネージャーの集い（山形県鶴岡市）
 令和9年2月10日（水）：連合会第2回まちづくり委員会（京都市）
 令和9年2～3月：秋田県建築士会第3回まちづくり委員会（R9事業計画）（WEB）
 令和9年2～3月：連合会東北ブロック会第3回まちづくり委員会（WEB）
 令和9年3月下旬：秋田県建築士会第5回理事会（R9事業計画）
 11月28日東北ヘリテージマネージャー交流会（）

(4) 連合会まちづくり部会等への参加

小原正明（景観）、佐々木昭仁（防災）、松塚智宏（歴史）、櫻庭 徹（街中（空き家））、松橋雅子（福祉）、長門雅哉（木）の連合会部会委員は、対面・WEB参加のほか、部会内の活動について、報告を行う。

(5) 秋田県建築士会大会への参加

・令和8年11月7日（土）：秋田県建築士会大会能代大会（～11月8日（日））

(6) 連合会東北ブロック会対面開催事業への参加

今年度、従来の会議形式に加え、ブロック委員が各県持回りで実施のまちづくり活動へ参加し、現地視察することとなった。現地活動を通じた実践的な知見の共有や相互交流の深化が期待されることから、当会まちづくり委員の参加を検討します。

・令和8年11月13日（金）：連合会東北ブロック会第2回まちづくり委員会（青森県黒石市）～14日（土）

2 地域歴史文化遺産保全活用推進員（ヘリテージマネージャー）の活動支援

(1) 歴史的建造物保存活用関連団体とのネットワークの構築

当委員会は、ヘリテージマネージャーの活動支援を事業計画の一つとしており、歴史まちづくりに関する建築士会の窓口として、役割を果たすことができるよう、ヘリテージマネージャー関係団体とネットワークの構築を図ります。県内のヘリテージマネージャー関係団体は次のとおり。

・あきたヘリテージマネージャーネットワーク協議会 ・増田まちなみ研究会
 ・大館歴史的建造物研究会 ・秋田中央地区ヘリテージマネージャー連絡会

建築士会として、連合会が歴史まちづくり部会を設置しているほか、各士会ごとに地域リーダーを任命しています。また、ヘリテージマネージャー関連団体として、全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会が組織されており、これらの団体とネットワークの構築を図ります。

(2) 歴史まちづくりセッション、全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会への参加促進

ネットワーク構築の一環として、建築士会全国大会において開催の歴史まちづくりセッション、全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会総会への参加促進を図ります。

・令和8年10月15日（木）：全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会総会（前橋市）
 ・令和8年10月16日（金）：建築士会全国大会ぐんま大会まちづくりセッション（高崎市）

(3) 「歴史的建築総目録データベース〔秋田県〕」の整備について

令和7年4月1日、連合会長から全国47建築士会会長宛に「日本建築学会との平常時及び災害時における歴史的建造物の調査等の連携協力について」と題する依頼がありました。

これを受け、昨年12月の理事会で、日本建築学会が所有する歴史的建築総目録データベース上にある秋田県内の建築物について、各地域会が協力して地域にある物件を調査することが決議されました。

12月24日、当会会長とまちづくり委員長連名で8地域会長宛に、「歴史的建築総目録データベース〔秋田県〕」の整備について」を発出し、調査を依頼しましたので、ご協力をお願いいたします。

《調査内容》データベースの記載事項の確認

《調査期限》中間集計 令和8年8月31日 最終集計 令和8年12月末

今回の調査では、既存データベースの整備のみを行うことを基本とします。

まちづくり委員長は質疑回答、調査データの収集・精査、学会との調整、データベース運用体制の構築を行うほか、まちづくり委員は、各地域会の調査に協力するものとなりました。

3 各まちづくり活動及び成果発表の支援

(1) 各まちづくり活動の支援

当会のまちづくり活動についてはこれまで、地域会や委員会が独自に活動しています。

これまでの事業の継続・発展のため、国等の制度や手引、連合会や全国士会のマニュアル、まちづくり賞応募活動やセッション発表の活動等、実践事例を紹介し、まちづくり活動を支援します。

(2) まちづくり賞の応募（自薦・他薦）

第13回まちづくり賞では、青森「三世代で続けるまちづくり」が奨励賞を受賞したほか、岩手（ダンボールハウス活動）、秋田（浸水被害と対応）、山形（古民家再生プロジェクト）、福島（会津の駅舎再生）と、東北から5件の応募がありました。当会応募の「浸水被害対応と防災まちづくり」は受賞には至らなかったものの、奨励賞に準ずる評価を得ました。近年、応募数が少なく、連合会まちづくり委員会では次回から、応募資料枚数制限の徹底など、応募ハードルを下げることにしました。

当会各地域会や委員会活動には、まちづくり賞に値する多くの活動が存在します。まちづくり賞受賞が活動目的ではありませんが、応募は活動成果を全国や地域にPRできる良い機会であり、受賞は活動意欲を高める効果が期待されることから、応募呼び掛けだけでなく、発掘し後押しする取組みを検討します。

(3) 「あきた建築士会ニュース」表紙や建築士会大会見学先等の評価・発表・応募

各地域会や委員会が「あきた建築士会ニュース」の表紙や活動、建築士会大会での発表・見学会の街並み等は、十分にまちづくり賞の対象になりうるので、応募候補のリストアップに取組みます。

(4) まちづくりに関する課題や先進事例の調査

秋田県内の各地域で建築士会や建築士が中心なり推進した事例を調査したところ、地域資源の保全・活用を軸とした先進的なまちづくり活動が展開されていることが分かりました。調査結果をまちづくり活動に活かすとともに、全国大会セッション発表やまちづくり賞応募の検討をお願いします。

4 全国との関係の構築（まちづくり情報の縦・横展開）

(1) 日本建築士会連合会まちづくり委員会を中心とした組織体系

ア まちづくり委員会

連合会と47士会にまちづくり委員会があります。

連合会委員会は7ブロックと委員長の推薦者で組織され、建築士の職能範囲拡大を目指し、全国の建築士によるまちづくりを支援することを目的に活動しています。

イ まちづくり6部会

まちづくり部会は、平成28年に、まちづくりを取り巻く諸問題の拡大を受けて、個々に掘り下げて議論する場所が必要との観点より発足しました。

ウ 地域リーダー

上記部会の目的である情報収集及び発信を行ううえでの連絡網として、各都道府県建築士会に対して「6部会別の地域リーダー」の選任を要請したものです。

(2) 各地建築士会におけるまちづくり活動に関するアンケート（令和8年7月14日）

連合会まちづくり委員会発足から30年以上が経過し、その間、委員会へ要求される機能・役割の変化に応じて、まちづくり6部会の発足や全国まちづくり会議の開催方法の変更などを行ってきました。

しかし、新たな課題が生じてきており、連合会まちづくり委員会において、今後各課題に応じた的確な議論をしていくに当たり、各士会へアンケートを実施しました。現在、連合会まちづくり委員会で、アンケート結果を踏まえ、まちづくり6部会、全国大会セッション、全国まちづくり会議のあり方など、今後の対応について協議しているところです。

(3) 秋田県建築士会まちづくり委員会の設置目的

当委員会は、令和3年、地域におけるまちづくり活動への参画、企画支援の推進、連合会のまちづくり活動と連携を図ることにより、地域社会へ貢献することを目的に設置されました。

(4) まちづくり情報の縦・横展開

多くの地域リーダーから、部会の情報が届いていないとの声が聞かれます。全員が当会各地域会（支部）推薦、当会委嘱の委員で、うち6名は当会委嘱の各部会地域リーダー、うち4名は東北ブロック会選出の連合会各まちづくり部会の委員になっています。連合会からの情報の受け手であると同時に、発信者の立場でもあります。ついては、各まちづくり部会に出席した際の資料・協議結果や、部会からの重要な情報について、「地域リーダー一覧・メーリングリスト」を活用して、東北ブロックの各部会地域リーダーおよび秋田士会まちづくり委員、各地域会（支部）への情報提供の活性化を図り、活動の支援を行います。

全国まちづくり会議における「被災建築物応急危険度判定」体験談の報告

令和8年1月30日（金）・31日（土）、「第34回全国まちづくり会議 in みやぎ」が、「東日本大震災から15年 復興の形と記憶の継承」－建築士会が関わった復興住宅の今と震災遺構を訪ねる－をテーマに、仙台市、女川町、石巻市で開催されました。概要については、会誌「建築士」2026年7月号をご覧ください。

30日（金）、仙台市で行われたパネルディスカッションの冒頭、東日本大震災後、女川町で被災建築物応急危険度判定に従事した、秋田県建築士会会員4名の体験談の発表がありました。

大震災直後の様子が参加者に伝わり、建築士による復興への関わり方を考える上で、大変貴重なお話でしたので、概要を報告します。



【石巻市震災遺構 門脇小学校】

◆佐々木政幸氏（秋田県建築士会総務委員）

【現地での経験】発災から1ヶ月後に現地入りした。1ヶ月経てば落ち着いているだろうと考えていたが、実際は重機で攪拌されたかのように荒廃しており、4～5階建てのビルが杭ごと倒壊している光景を目にして、今でも恐怖を覚えている。

【教訓・気付き】判定調査中に山の中腹で「これより下に家建てるべからず」という伝承碑を目にした。地域に伝わる過去の教訓を視察等を通じて再確認・共有することの大切さを強調した。



◆松谷一広氏（秋田県建築士会能代山本支部）

【現地での経験】要請から派遣までわずか2日という厳しい条件の中、講習で学んだ程度の基礎知識で手探りながら一生懸命に活動を展開した。

【教訓・気付き】絶えず続く余震への警戒が必要であった。単なる建物の危険度判定作業に留まらず、精神的に強い不安を抱えている被災住民の声を丁寧に聴き、寄り添って相談に乗ることの重要性を痛感した。



◆佐々木展氏（秋田県建築士会秋田中央支部理事）

【現地での経験】当初は復興が思い描けないほどの凄惨な状況であったが、そこから街の形を作り上げた女川町の方々の復興への歩みに感銘を受けた。

【教訓・気付き】高台や崖地などの立地条件による被害の大きさを実感した。建物（土物）単体で対処・防災できる範囲には限度があり、立地環境を踏まえた上で建築士としてどのような貢献ができるかを模索する必要があると訴えた。



◆佐々木昭仁氏（連合会災害対策委員、秋田県建築士会 まちづくり副委員長）

【現地での経験】秋田県から20名（県12名、秋田市4名、建築士会4名）が派遣された。壊滅状態の女川町内（電力社宅周辺や橋が未整備だった離島の出島等）において、船の航行危険や潮位制限がある中、過酷でサバイバルな調査を実施した。

【教訓・気付き】資格保有者でも現地で何をすべきか戸惑うケースが多い。派遣要請に即座に対応できるよう、官民の垣根を越えて平常時から定期的な訓練や基礎知識のアップデートを繰り返し、受援・支援体制をしっかりと構築すべきだ提言した。



【第34回全国まちづくり会議 in みやぎ集合写真【仙台市青葉山公園仙臺緑菜館】】

青年委員会

「建築士の日」

親子体験学習 ～つくってあそぼう 親子木工教室～

(一社) 秋田県建築士会 青年委員長 加 藤 一 喜
大館北秋田建築士会 青年委員長 北 村 公 晴

今年も7月4日(土)に建築士の仕事の認知向上を図る為有志により親子体験学習を開催しました。

今回は大館北秋田建築士会が企画と準備、そして当日の運営を各支部有志との協力で行いました。

杉材を予め加工し、ビスを打つ箇所に下穴を開けてインパクトドライバーを使いミニテーブルを親子で組み立てていきます。最初は建築士会有志が作成手順や工具の使い方を教えながら組み立て、慣れてきたらそこからは親子で相談しあいながら一緒に完成させます。



初めて使うインパクトドライバーでしたが、子ども達は怖がることなく積極的にビスを打ち、時にはお父さんが手を添えて手伝いながら作成していました。

一組、指導、作成まで約30分程度の時間で予定通りに進める事が出来ました。

木に触れる感触、におい、苦労しながらも自ら作り、完成した時の達成感や満足感を感じてもらい、ものづくり、そして建築に携わるすべての工程に、魅力を感じてもらえたら幸いです。



令和8年度 第35回全国女性建築士連絡協議会（東京）に参加して

横手建築士会 小 幡 寛 子

7月19日（日）20（月）日本建築学会建築会館にて「第35回全国女性建築士連絡協議会」が開催され、参加してまいりました。一日目、全体会の基調講演は建築家・SUEP.（末光弘和氏・末光陽子氏ご夫妻）による「対話が紡ぐ環境デザイン 未来へつなぐ風、光、熱のかたち」をご講演いただきました。末光弘和氏は、建物を取り巻く環境を地球規模で考え、風、光、熱を考慮しデザインをされた兵庫県の「淡路島の住宅」や台湾の「百佑オフィス」を、末光陽子氏は建物周辺の鳥の種類を調べたり、自然を身近に感じながら生活できるよう工夫された東京都の「ミドリノオカテラス」をそれぞれお話しいただきました。末光弘和氏が九州大学大学院准教授をされており、建物環境を地球規模で研究を重ねた上で設計された建物は、どれもオリジナリティに溢れ、純粹に設計をするのが楽しい！という思いが伝わってくるお話でした。末光陽子氏は自身の経験を踏まえ、理想の子育て環境を設計段階で落とし込み、ここで子育てしたいと思わせるような工夫が詰まった建物を設計されており、ご夫婦がそれぞれの得意分野を活かした設計をされておりました。講演後の交流会において秋田県建築士会女性委員会のアピールコーナーがあり、今回参加した6名で発表しました。身振り手振りを加え、今年5月に行った学習会で覚えたストレッチ体操をみんなで披露し、楽しい活動報告ができたのではないかと思います。

二日目の分科会は「災害に備えて建築士が今、繋がる」に参加。2016年熊本地震をきっかけに発足した九州の建築士らによる「建築プロンティアネット」の活動報告、2024年能登半島地震の際、そちらに続いて設立した「建築プロンティアネット北陸」の活動報告をしていただきました。（プロンティアとはプロのボランティアだそうです。）建築士が横につながり情報共有すること、また、他業種他団体ともつながり関わっていく重要性などを事例とともにお話して頂きました。地震が発生した際、このような活動ができるのは現地の建築士ではなく、被災を免れた隣県の建築士なのだと改めて認識でき、ワークショップでは災害に対して私たち建築士には何ができるかを具体的に話し合うことができました。この全建女に参加した一週間後の7月28日に最大震度7強の「令和8年熊本地震」が発生しました。数か経った現在も、九州の建築士の方々が建築プロンティアとして活躍されていることと思います。地震大国で建築に携わる以上、私も身近で地震が発生した際は、この分科会で得た知識を踏まえ、少しでも復興に携わっていけるよう実践していきたいと思っています。

また全建女の後、秋田からきた皆さんとともに江戸東京博物館を見学しました。4年の歳月をかけ大規模改修を行った建物内部は新築と変わらない新しさがあふれ、展示は一日かけても回り切れないほどの見ごたえがありました。企画展は「洋館 明治の夢と挑戦」が開催され、辰野金吾の卒業設計図面など貴重な資料が展示されておりました。

私にとっては2回目の「全建女」、今回は東北5県による懇親会の幹事もさせて頂き、緊張感がありながら、非常に楽しい時間を過ごすことができました。個人的には渋谷の松濤美術館にも初めて行くことができ、より建築が好きになった2日間でした。



令和7年度 第3回学習会「つまみ細工製作体験」

能代山本建築士会 池 田 佐 保

令和8年2月7日、秋田市役所3階センタース洋室4にて、(一社)秋田県建築士会女性委員会「令和7年度 第3回学習会」を開催しました。

今回のテーマは「つまみ細工製作」。講師には、つまみ細工「雛 hina」主宰の林 聖子先生をお迎えしました。

林先生は、娘さんの成人式につまみかんざしを作ることをきっかけに、つまみ細工を独学で始められたそうです。当時は参考となる資料も少なく、本も2冊ほどしかなく、目にする作品も伝統工芸としての趣が強かったとのこと。その後、独自に研究を重ね、現在は伝統的な技法を生かしながら、布の柄や色の組み合わせなどを工夫した、個性あふれる作品を制作されています。

学習会では、まず基本となる2種類の作品づくりに取り組みました。参加者は用意された布の中から、それぞれ好みの柄を選ぶところからスタート。小さな布を折り、つまみ、形を整えていく細かな作業に、最初は戸惑いながらも、林先生の丁寧な指導を受けながら一つひとつ作業を進めました。

つまみ細工は、布のわずかな折り方や角度、配置によって仕上がりの印象が変わります。細かな手作業に集中することで、普段の業務とは違ったものづくりの楽しさを感じることができました。

また、林先生のご厚意により、時間の許す限り製作を続けることができ、中には4種類の作品を完成させる参加者もありました。完成した作品を互いに見せ合うなど、会場は終始和やかな雰囲気に包まれました。

建築の仕事では、図面や素材、寸法などを細かく確認しながら、一つのものを形にしていきます。今回のつまみ細工も、素材となる布を選び、細かな手作業を積み重ねながら一つの作品を完成させるという点で、ものづくりの楽しさや奥深さを改めて感じる機会となりました。

普段とは異なる分野の技法に触れ、手を動かしながら学ぶことができた今回の学習会。参加者それぞれが思い思いの作品を完成させ、充実した時間を過ごすことができました。

林聖子先生、丁寧で楽しいご指導をありがとうございました。



つまみ細工写真作品鑑賞



つまみ細工（林先生）



つまみ細工（作品制作中）



令和7年度第3回学習会つまみ細工全員



つまみ細工（小作品）

女性委員会

令和8年度 第1回学習会

「体が変わると仕事が変わる。建築士のためのケア講座」に参加して

由利建築士会 加藤 功子

5月23日（土）、ミルハス 小ホールBにて第1回学習会が開催されました。私は、約1年ぶりの女性委員会の参加で、更に横手建築士会会員の松井幹子さんが講師としていらっしゃるということで、わくわくしながら当日を迎えました。

「体が変わると仕事が変わる。建築士のためのケア講座」という演題で、椅子に座ったままでもできるストレッチや立って行う体操などを教えてもらいました。元々体が硬くて肩凝りがひどいのですが、ストレッチをして体を伸ばしたりいろいろな体操をしたりして体が楽になりました。皆さんと、楽しくおしゃべりしながら（関節がボキボキ鳴ったり、ふらついたり、痛いと言いながら（笑））体を動かしてリフレッシュできたひとときでした。今回学習会で教えてもらったことを思い出して仕事の合間や寝る前等に、無理のない範囲で体をほぐして日々の生活を送っていきたいと思います。



講義の聴講風景



体操風景



体操風景（ひねり）



全員写真

弘前城、曳いてきました

～煉瓦とシードルと前川國男の旅～

秋田中央建築士会 能 上 崇



令和8年8月26日（水）、秋田中央建築士会の優良建物見学会事業として、青森県弘前市を訪ねてきました。今回の目的地は、吉野町煉瓦倉庫（旧吉井酒造煉瓦倉庫）をリノベーションして、2020年7月にオープンした「弘前れんが倉庫美術館」と、桜の名所として有名な「弘前公園」。総勢21名で弘前を見学、散策してきました。

<弘前れんが倉庫美術館>

改修は、建築家・田根剛が担当。「記憶の継承」をコンセプトに、高度な耐震補強と既存の煉瓦壁を内外無傷で保存する設計により、建物の記憶を継承し、未来の時間へと引き延ばす建築に仕上がっているとのこと。屋根は寒冷地においても耐久性と耐食性を備えるチタン材を採用。光の角度によって刻々と移り変わるシードルゴールドの屋根は、周辺の

緑や煉瓦と一体となって、風景に彩りを与えていました。

美術館に隣接するカフェでは、名産のりんごを原料とした発泡酒「シードル」を味わうことができます。私も樽生シードル（800円）を1杯いただきました。旅先で気軽にアルコールを楽しむことができるのも、バス旅行の醍醐味ですね。このカフェとショップが入る別棟も、美術館同様に煉瓦倉庫をリノベーションしたもの。シードルはおいしく、飲み足りなそうな方々もいたようでしたので、もう少し滞在時間を長くしても良かったかもしれません。次回以降の課題ですね。



<昼食 津軽藩ねぶた村>

昼食会場の「津軽藩ねぶた村」は、弘前公園の北東部に隣接した観光施設。大型バスが駐車できて、まとまった人数での食事が可能とのことで、ここを昼食会場としました。津軽三味線の実演を観ることができる「弘前ねぶたの館」やおみやげ屋さんも併設されていて、平日にも関わらず、大勢の観光客で賑わっていました。インバウンド効果なんでしょう。

<弘前公園・弘前城>

弘前城は、弘前藩初代藩主の津軽為信が築城を計画し、2代藩主の信枚が藩政にあたっていた1611年に完成。その後、1627年の落雷で天守が消失したと伝わっており、その後はしばらく天守が存在しない状態が続いていたのですが、現在の天守は、櫓（やぐら）造営の名目で1810年に建造されていて、江戸時代以前の現存12天守のひとつとして、国の重要文化財に指定されています。

今回、訪問した際は、石垣修理のために移動していた約400トンの天守を元の位置に戻す「曳戻（ひきもと）し」が行われていました。11月までに合わせて約77メートル移動するとのこと。この曳戻しは、1915年以来のことで、実に111年ぶり。

今回の曳戻しに合わせて、天守を綱で引っ張る体験イベント「ひっぱれ！けっぱれ！弘前城」が行われていて、市内の小中学生など約3700人が参加してみんなで引っ張ったもよう。我々、秋田中央建築士会も、少しだけ曳いた気分になってきました。

弘前市では、天守の曳戻し完了後、天守本体の耐震補強に加え、屋根や壁などの保存修理工事も実施予定で、天守の一般公開は2033年頃を目指しているとのこと。その時は、また視察に来ましょうか。

<弘前市民会館 前川國男建築>

弘前城の曳戻しの現場を見学した後、少し足を伸ばして巨匠前川國男設計の「弘前市民会館」へ。時間の都合上、外観を眺めるくらいしかできませんでしたが、弘前市の前川國男建築群は、改めて観に行く価値がありますね。個人的に再訪しなければ。

<後記>

見学会当日は天候にも恵まれ、楽しい小旅行となりました。私もシードルを飲んでみたり、休憩で立ち寄った道の駅ふたついで「じゃっぼう」を食してみたりとさながら大人の遠足。往復6時間の行程ではありましたが、大型バスの旅は快適で、仕事に追われる日々をひととき離れ、ゆっくりとした時間を過ごすことができました。

企画した自分がいうのもおこがましいですが、よい企画だったのではないかと。来年度も開催したいと考えていますので、この寄稿を読んで気になった方は、ぜひご参加ください。

さて、次回は、鶴岡にしようか、盛岡にしようか…



会 務 報 告

(令和8年1月～7月))

- 1月7日(水) 建築士資格についての検討会 小田島会長、植田事務局長 出席 於：秋田県建築士事務所協会
 1月20日(火) 東北ブロック会 第2回 会長会議 小田島会長、植田事務局長 出席
 於：緑水亭（仙台・秋保温泉）
 1月21日(水) 横手建築士会 新年会 小田島会長 出席 於：シャイニーパレス
 2月5日(木) 第54回 秋田県工業系高校生徒による建築設計作品コンクール 作品審査会 加藤青年委員長 出席
 於：秋田市文化創造館
 2月6日(金) 仙北建築士会 新年会 小田島会長 出席 於：大曲プラザたつみ
 2月07日(土) 第54回 秋田県工業系高校生徒による建築設計作品コンクール 表彰式 小田島会長 出席
 於：秋田市文化創造館
 2月20日(金) 令和7年度 全国職員会議 植田事務局長 出席 於：建築会館1階「建築会館ホール」（東京都）
 2月25日(水) 大館北秋田建築士会 令和7年度 事業・活動報告及び新年会 小田島会長 出席
 於：プラザ杉の子
 3月4日(水) 建築士定期講習 受講者16名
 於：秋田テルサ
 3月5日(木) 連合会 第2回災害対策委員会
 佐々木 昭仁委員 出席 WEB
 3月19日(金) 令和7年度 第5回 理事会
 於：パーティギャラリー イヤタカ
 3月26日(木) 災害時応援協定に係る連携推進会議 植田事務局長 出席
 於：秋田県庁 第2庁舎 4階
 5月13日(水) (一社)秋田県設備設計事務所協会 通常社員総会および懇親会 小田島会長 出席
 於：ホテルメトロポリタン秋田
 5月13日(水) 令和8年度 第1回事業委員会 開催 於：あきた芸術劇場ミルハス
 5月19日(火) 会計監査 斉藤監事、山脇監事、門間監事 他4名 出席 於：あきた芸術劇場ミルハス
 5月22日(金) (一社) 秋田県建築士事務所協会 第60回 定時総会懇親会 小田島会長 出席
 於：ANAクラウンプラザホテル秋田
 5月24日(日) 秋田県建設技能組合連合会 第69回 定期大会懇親会 小田島会長 出席
 於：ホテルメトロポリタン秋田
 5月26日(火) 秋田中央建築士会 令和8年度通常総会及び懇親会 小田島会長 出席
 於：アキタパークホテル
 5月29日(金) 令和8年度 第1回 理事会 於：秋田市中央市民サービスセンター
 6月4日(木) 湯沢雄勝建築士会 令和8年度通常総会並びに懇親会 小田島会長 出席
 於：湯沢グランドホテル
 6月5日(金) 秋田県建築物定期報告調査・検査協会 令和8年度 通常総会 懇親会 加藤副会長 出席
 於：パーティギャラリー イヤタカ



3月4日(水) 建築士定期講習

- 6月5日(金) 仙北建築士会 令和8年度通常総会及び懇親会 小田島会長 出席 於：グランドパレス川端
- 6月5日(金) 鹿角建築士会 令和8年度通常総会及び懇親会 松橋専務理事 出席 於：ホテル茅茹荘
- 6月10日(水) 東北ブロック会 臨時会長WEB会議 小田島会長、植田事務局長 出席 WEB
- 6月16日(火) 令和8年度 建築士登録機関等連絡協議会 総会 小田島会長 WEB出席 WEB
- 6月17日(水) 大館北秋田建築士会 令和8年度通常総会懇親会 中西副会長 出席 於：プラザ杉の子
- 6月20日(土) 由利建築士会 令和8年度 通常総会および懇親会 小田島会長 出席 於：安楽温泉
- 6月23日(火) 一般財団法人 秋田県建築住宅センター 評議員会 淡路顧問 出席 於：アトリオン7階
- 6月29日(金) 令和8年度 定時会員総会 於：パーティギャラリー イヤタカ
- 7月3日(金) 第1回「令和8年建築士のための住宅紛争処理支援セミナー」連絡WEB会議 植田事務局長 出席 WEB
- 7月4日(土) 「建築士の日」記念事業 於：秋田市市民交流プラザ アルヴェ
- 7月5日(日) 令和8年 二級建築士「学科の試験」実施 受験者74名 於：秋田アトリオンビル
- 7月9日(木) 令和8年度 東北ブロック会 総会・第1回会長会議 小田島会長、植田事務局長 出席 於：仙台国際ホテル
- 7月15日(水) 建築士定期講習 受講者37名 於：秋田テルサ
- 7月22日(水) 令和8年度 ストップ・ザ・温暖化あきた県民会議 総会 加藤一成副会長 出席 於：県庁第二庁舎8階 大会議室
- 7月26日(日) 令和8年一級・木造建築士「学科の試験」実施 受験者：一級 78名、木造 2名 於：秋田県JAビル
- 7月28日(火) 令和8年度 第1回災害対策委員会 (WEB会議) 佐々木まちづくり副委員長 出席 WEB



7月15日(水) 建築士定期講習

令和8年1月～7月

地域会だより

○鹿角建築士会

- 1月30日 鹿角地方職業能力開発協会役員会・新年会 (中西会長出席)
- 1月31日 令和7年度 第3回理事会・役員会 (於 平和軒 13名参加)
1. 鹿角大会の決算報告
 2. 歴史的建築目録データベース(鹿角)の整備について
 3. その他

終了後、鹿角大会慰労会開催

- 3月28日 青年委員会 第15回東北ブロック青年大会～あおり大会 (1名参加)
- 4月9日 令和7年度会計監査 (於 鹿角建築士会事務局)
- 4月16日 令和8年度 第1回理事会 (於 十和田市民センター 10名出席)
1. 鹿角建築士会通常総会について
 2. 県永年功労表彰者等の推薦について

- 3. 全国大会（ぐんま大会）について
- 4. その他

5月14日 秋田県建築士事務所協会県北支部総会懇親会（中西会長出席）

5月25日 鹿角地方職業能力開発協会総会懇親会（中西会長出席）

6月5日 令和8年度 第2回理事会
（於 ホテル茅茹荘 11名出席）

- 1. 鹿角建築士会通常総会の進行等の確認
- 2. 秋田県建築士会定時総会について
- 3. 秋田県建築士会「建築士の日」記念事業について
- 4. その他

令和8年度鹿角建築士会通常総会
（於 ホテル茅茹荘 15名出席）

- 1. 令和7年度度事業報告及び収支決算承認の件
- 2. 令和8年度事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件



通常総会



総会懇親会

6月29日 令和8年度秋田県建築士会定時会員総会
（於 パーティーギャラリーイヤタカ 3名出席）

7月4日 令和8年度秋田県建築士会「建築士の日」記念事業（於 秋田市 6名参加）

○大館北秋田建築士会

1月23日 第6回 大館歴史的建造物研究会
（於 中央公民館 出席8名）

- ・木村邸調査報告書の文章について

2月17日 第3回 三役+α会議（ZOOM会議 出席7名）

- ・新年会について

2月20日 第7回 大館歴史的建造物研究会
（於 中央公民館 出席6名）

- ・木村邸調査報告書の文章及び写真について

2月25日 活動報告会及び新年会
（於プラザ杉の子 出席30名）

- ・活動報告 青年委員会、女性委員会、まちづくり委員会、全国大会 来賓5名
- ・講演会 「壊してからでは遅い！歴史的文化遺産」～官民で維持する仕組みづくり～

講師 八戸工業大学工学部教授

黒坂貴裕氏

- ・新年懇親会（出席32名 来賓6名）

3月13日 第8回 大館歴史的建造物研究会
（於 中央公民館 出席7名）

- ・木村邸調査報告書のフォントや紙面の調整等印刷について

3月24日 第9回 大館歴史的建造物研究会
（於 中央公民館 出席7名）

- ・木村邸の保存方法についての中村設計さんを交えて協議
- ・一般市民を招いての木村邸の見学を開く

3月28日 第14回 東北ブロック青年委員会あおり大会（於 十和田市地域交流センター
・大会式典、大会式典出席8名）

- ・懇親会

4月2日 令和8年度 第1回 大館歴史的建造物研究会（於 中央公民館 出席7名）

- ・木村邸一般見学会について

4月13日 第2回 大館歴史的建造物研究会
（於 中央公民館 出席7名）

- ・木村邸一般見学会について及び木村邸清掃活動について

4月14日 石田大館市長と面談

(於大館市役所 出席 4名)



石田市長面談

- ・歴史的建造物研究会の活動報告と木村邸について意見交換

4月15日 令和8年度 第1回 三役+α会議

(ZOOM会議 出席7名)

- ・令和8年度 第1回理事会について

4月19日 木村邸離れお掃除会

(於 木村邸離れ 参加10数名)

- ・一般見学会前にまちづくり委員会のほか青年委員会、女性委員会も参加

4月23日 令和8年度 第1回 青年委員会

(於 中央公民館 出席8名)

- ・理事会、総会に向けての協議
- ・建築士の日、親子体験学習についての協議

4月25日 令和8年度 第1回 女性委員会

(於 まつお(北秋田市) 出席8名)

- ・理事会、総会に向けての協議他

4月26日 「歴史的建造物木村邸離れ見学会」(於



第1回木村邸見学会

木村邸 スタッフ8名 見学者21名)

- ・木村邸離れの一般向け見学会。大館市文化財保護協会副会長講演含む。

5月12日 令和8年度 第3回 大館歴史的建造物研究会 打合せ(於 中央公民館 出席9名)

- ・木村邸の所有者の動向と今後の活動について

5月13日 令和8年度 第1回 理事会(於 大館駅なか交流センター 出席16名)

- ・通常総会について

5月28日 令和8年度第4回 大館歴史的建造物研究会打合せ(於 中央公民館 出席6名)

- ・木村邸の今後の活動及び動向について

6月17日 令和8年度 第14回 通常総会

(於 プラザ杉の子 出席会員27名)

- ・議案第1号 令和7年度事業報告 委任状 33名)

- ・議案第2号 令和7年度収支決算承認の件

- ・議案第3号 令和8年度事業計画案審議の件

- ・議案第4号 令和8年度収支予算案審議の件

- ・報告事項 次年度からの会費見直しについて

会員の状況報告

県功労者表彰の件全案異議無く承認

- ・(一社)秋田県建築士会会長挨拶

- ・記念講演 「いざというときのための防災講座」

講師 大館市消防本部予防調査課 課長補佐 石田 勝 様

「OrderTechの紹介」

講師 三浦木材(株)

専務取締役 三浦 祥平 様

- ・懇親会(於 プラザ杉の子 出席会員32名 来賓8名)

6月29日 令和8年度 (一社)秋田県建築士会 定時会員総会 (於パーティギャラリー イヤタカ出席8名)

7月1日 令和8年度 第5回 大館歴史的建造物
研究会 打合せ

(於 中央公民館 出席8名)

- ・歴史的建築総目録データベース「秋田県」の整備について

7月4日 「建築士の日」記念事業 (於 秋田拠点
センター ALVE 出席 10名)

- ・親子体験学習「つくってあそぼう ～ミニテーブルの製作～」

- ・記念講演 「街の誘惑 ～マチアルキから見る街の楽しみ～」

- ・支部対抗ボウリング大会 (於 ロックンボウル 出席 10名)

成績 準優勝 大館・北秋田A

個人優勝 三浦祥平(賛助会員)

第3位 大館・北秋田B

7月10日 令和8年度 歴史的観光資源高質化促進
事業についての協議 (於 大館市役所出
席6名)

- ・標記の国交省の新補助事業について市担当者から説明を受ける

7月18日 古民家山福 改修前調査及びアドバイス
(於 古民家山福 出席4名)

- ・昨年歴史的建造物調査を行った山福の改修について

7月19・20日 第35回全国女性建築士連絡協議会
(於 東京建築会館 出席1名WEB1名)

7月27日 令和8年度 第6回 大館歴史的建造物
研究会 打合せ(於 事務局 出席6名)

- ・国の補助事業を踏まえた今年度の活動について

○能代山本建築士会

1月13日 理事役員会 (シャトー赤坂) 10名出席

1. 中間期事業報告について
2. 今後の事業計画について
3. 総会議事による改定について
4. 役員改定について
5. その他

3月16日 講習会 (シャトー赤坂) 10名出席
「歴史的建築目録データの整理とヘリ
テージマネージャー養成講座の報告」

5月7日 会計監査 (鈴喜代) 4名出席

5月19日 理事役員会 (中田建設) 11名出席

1. 令和7年度事業報告について
2. 令和7年度収支報告について・監査報告
3. 令和8年度事業計画について
4. 令和8年度収支予算について
5. 県建築士会秋田大会能代山本大会について
6. その他

5月25日 青年委員会 (シャトー赤坂) 7名出席

5月25日 通常総会・懇親会 (シャトー赤坂) 14名出席

1. 令和7年度事業報告について
2. 令和7年度収支報告について・監査報告
3. 令和8年度事業計画について
4. 令和8年度収支予算について
5. 県建築士会秋田大会能代山本大会について
6. その他

7月8日 親睦ゴルフコンペ (男鹿ゴルフクラブ)
17名参加

○秋田中央建築士会

4月14日 R7年度会計収支決算監査

(於 御厨光琳)

4月20日 R8年度第1回理事会 (21名出席)

(於 アキタパークH)

1. 令和7年度事業活動報告
2. 令和7年度一般会計収支決算報告
3. 令和8年度事業計画案
4. 令和8年度一般会計収支予算案
5. 令和8年度総会及び表彰について
6. その他

5月26日 R8年度第2回理事会、総会、懇親会 (44
名出席) (於 アキタパークH)

1. 令和7年度事業報告
2. 令和7年度一般会計収支決算承認の件
3. 会計監査報告
4. 令和8年度事業計画案
5. 令和8年度一般会計収支予算案決定



の件

6. その他

7月4日 R 8年度「建築士の日」記念事業、会員親睦会（21名参加）

- ・親子体験学習・建築相談会・講演会
（於 アルヴェ 2F）
- ・地域対抗ボウリング大会
（於 ロックンボウル）
- ・懇親会（於 ダイニング集）

○由利建築士会

1月23日 理事会 第3回理事会及び新年会
（於 本荘由利地域職業訓練センター）

- ・全国大会及び県本部理事会、各委員会報告
- ・賛助会員の獲得について
- ・その他

4月21日 監査 会計監査
（於 由利建築士会事務局）

- ・令和7年度実施事業及び会計監査
- ・その他

4月21日 理事会 第1回三役会
（於 由利建築士会事務局）

- ・令和8年度総会の件

総会詳細について

実施事業及び予算書（案）

- ・全国大会ぐんま大会について
- ・その他

5月14日 理事会 第1回理事会
（於 本荘由利地域職業訓練センター）

- ・総会案件決議要件
（令和7年度事業報告及び収支決算承認の件）

（令和8年度事業計画（案）及び収支予算書（案）の件）

- ・その他

6月20日 総会 令和8年度通常総会
（於 安楽温泉）

- ・令和7年度事業報告及び収支決算承認の件
- ・令和8年度事業計画（案）及び収支予算書（案）決定の件
- ・その他

○仙北建築士会

2月6日 仙北建築士会講習会
（於：大曲プラザたつみ）41名参加

1. 仙北地域振興局建設部建築課
チームリーダー 太田 知氏
「建築関係法令に関する留意事項について」
2. 大仙市建設部建築住宅課

参事 鈴木将氏

「改正建築基準法施行後に改めて確認したい建築確認・検査手続きのポイント」

3. 角館消防署予防・庶務主席主査



照井 祐貴氏

「最近の消防予防行政について」

新年会 75名参加



4月23日 監査 令和7年度会計監査
(於：事務局)

4月27日 理事会 第1回理事会
(於：大曲職業訓練センター) 14名出席

1. 総会について(会計報告他)
2. 表彰者について
3. 空き家無料相談について
4. 全国大会について
5. 建築士の日について
6. その他

6月5日 総会 令和8年度通常総会
(於：グランドパレス川端) 33名出席



1. 令和7年度事業報告及び収支決算承認の件

2. 令和8年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

3. その他

懇親会 73名参加

6月22日 ボウリング大会 令和8年度親睦ボウリング大会 (於：仙北ファミリーボウル) 5名参加

6月29日 県総会 8名参加

7月4日 建築士の日 5名参加

○横手建築士会

1月21日 第3回理事会 17:00～17:45
(於 シャイニーパレス)

1. 会務報告

(県本部)

・令和7年12月19日 第4回理事会報告

(横手支部)

・第75回全国大会 おおさか大会報告、参加者12名

・47回秋田県建築士会鹿角大会報告、参加者8名

2. 議題

①令和8年度横手建築士会総会

・令8年5月15日(金) シャイニーパレス

担当地域：横手南、山内

15:00講習会、16:00総会、18:00懇親会

・総会役割分担について

総会委員長、議長、司会者

次回以降(横手手南、山内→横手北、金沢→大雄、大森→平鹿、雄物川→十文字、増田)

②第四回理事会の日程について

・令和8年4月15日(水) 場所：サンサン横手

1月21日 新年会 18:00～20:00

(於 シャイニーパレス)

4月15日 第4回理事会 14:00～15:30

(於 サンサン横手)

1. 会務報告

(県本部)

- ・令和7年度3月19日第5回理事会報告
- ・令和8年度定時会員総会6月29日(月)

2. 議題

①令和8年度年通常総会について

(担当地区：横手南、山内)

5月29日(金) シャイニーパレス

15:00講習会、16:00総会、18:00

懇親会

②令和7年度収支決算について

③令和8年度収支予算案について

④全国、県表彰について

⑤令和9年度横手支部各役割分担について

⑥定例理事会・行事日程について

⑦令和9年度横手建築士会総会改選について

⑧入会者・退会者について

- ・4月より大和組賛助会員に入会

⑨会費徴収について

- ・令和8年5月25日までに照井郁人建築設計事務所にて集金

⑩その他

- ・工事写真の撮り方の講習案

5月29日 総会直前理事会 14:00～14:45

(於 シャイニーパレス)

講習会 15:00～15:45

1. 法改正から1年定点観測からの現在地

- ・木造住宅から非住宅まで幅広く情報提供

横手建築士会通常総会 16:00～16:50

(於 シャイニーパレス)

1. 議事

- ・令和7年度事業報告・収支決算書について
- ・令和8年度事業報告(案)・収支予算書(案)について
- ・その他

懇親会 17:00～19:00

6月17日 第1回理事会 14:00～15:00

(於 サンサン横手)

1. 会務報告

(県本部)

- ・令和8年6月29日 第1回理事会報告
- ・定時会員総会 令和8年6月29日

(横手)

- ・横手建築士会・講習会15:00～15:45

- ・通常総会 16:00～16:50

2. 議題

①役割分担について

②会費の徴収について

③定例理事会、主行事日程について

④令和9年度横手建築士会総会について

- ・令和9年5月14日(シャイニーパレス)

⑤令和7年度物故者無し

⑥令和7年度退会者無し

⑦令和8年度入会者、賛助会員大和組

⑧建築の日記念事業の開催について

⑨その他



○湯沢雄勝建築士会

4月9日 執行役員会 令和8年度第1回執行役員会(於 佐久組 15:00～17:00)

出席者 4名

4月23日 監査 令和7年度会計監査(於 湯沢グランドホテル 11:30～12:00)

出席者 4名

4月23日 理事会 令和8年度第1回理事会(於 湯沢グランドホテル 13:00～15:00)

1. 令和7年度会務報告
2. 〃 収支決算会計監査報告
3. 令和8年度事業計画
4. 〃 収支予算計画
5. 〃 通常総会について
6. 歴史的建築データベース調査について 出席者 13名

6月4日 法規講習会 講習会出席者27名
講師：秋田県建築住宅センター（16：00～）

通常総会 令和8年度湯沢雄勝建築士会
通常総会
総会出席者29名 委任状25名
計54名（17：00～）

議案その他、原案通り満場一致で可決

来賓・関連企業9名、会員19名で懇親会を開催（18：00～）（於 湯沢グランドホテル）



7月13日 建物見学会 湯沢市複合公共施設
「Yuinas（ゆいなす）」（15：00～）

参加者13名

納涼会（18：00～）

参加者6名



◆「建築士有資格者の不足解消に向けた建築士試験制度の改正を求める意見書（請願）」が採択されました。◆

令和8年3月19日の県議会本会議において、『請願第27号 建築士有資格者の不足解消に向けた建築士試験制度の改正を求める請願について』が採択され、関係方面※1に提出されることとなりました。（※1：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、国土交通大臣）

令和7年度の定時会員総会にて、ご来賓の秋田県議会議長の工藤嘉範様へ建築士不足の現状をお話した際に、「建築業界で検討し意見をまとめたらどうか」とのご助言を頂戴いたしました。これを受けて、（一社）秋田県建築士事務所協会と検討会を立ち上げ、3回の会議を経て取りまとめを行いました。最終案については他の建築関係団体へも賛同を呼びかけ、（一社）秋田県建設業協会、（公社）日本建築家協会東北支部、（一社）秋田県設備設計事務所協会との連名で請願することとなりました。

令和8年7月8日には、富樫博之衆議院議員および工藤嘉範秋田県議会議長にご同行いただき、当会の小田島会長ならび秋田県建築士事務所協会の村田会長とともに、国土交通省に要望内容の説明と請願書の提出を行いました。

議 事 一 8 6 9
令 和 8 年 3 月 1 9 日

一般社団法人 秋田県建築士会
会長 小田島 誠 様

秋田県議会議長 工藤 嘉範
(公 印 省 略)

請 願 議 決 結 果 通 知 書

次の請願については、令和8年3月19日の本会議において採択と決定しましたので、通知します。
なお、採択に伴い、別添意見書を関係方面に提出しております。

請願第27号 建築士有資格者の不足解消に向けた建築士試験制度の改正等を求める請願について

建築士有資格者の不足解消に向けた建築士試験制度の改正等を求める意見書の内容

建築士は、国民の生命・財産を守る建築物の安全性を確保し、豊かな住環境を創造する専門家として、極めて重要な役割を担っている。しかし、現行の建築士試験制度は、多忙な実務との両立が困難な仕組みや、実務の実態と乖離した試験形式など、受験者にとって過度な負担となっており、これが資格取得の断念や受験者数の減少を招く一因となっている。

よって、国においては、建築士としての専門的な能力水準を維持しつつ、意欲ある人材がより挑戦しやすく、かつ実務に即した能力評価が行われるよう、次のとおり、建築士試験制度の抜本的な改正等を行うことを強く要望する。

1 設計製図試験における受験回数制限の撤廃

学科試験合格者は一定の知識を有していることから、不合格による学科試験からの再受験という負担を解消するため、有効期限や回数制限のない設計製図試験制度へ改めること。

2 学科試験への科目別合格制度の導入

多忙な実務者が段階的に知識を習得できるよう、基準点に達した科目の免除制度を導入すること。あわせて合格後の定期講習義務付け等により資質の維持を図ること。

3 一級学科合格者への二級製図試験受験資格の付与

高度な知識を持つ一級学科合格者が、二級建築士として早期に活躍できるよう、二級学科試験を免除し、直接製図試験を受験できる経路を確立すること。

4 二級建築士の受験資格及び実務経験要件の緩和

若年技術者の早期育成のため、実務経験のみでの受験年数を現行の7年から5年へ短縮するとともに、建築系以外の高校卒業者の受験・登録要件を見直すこと。

5 建築士及び建築設備士試験の最終合格率の引き上げ

将来の技術者不足を回避するため、定期講習やCPD制度による資質担保を前提とし、一級・二級建築士及び建築設備士の最終合格率を適切に引き上げること。

6 一級建築士学科試験における出題範囲の適正化

実務上の必要性が低い歴史的建築物や特殊用途の細部に関する出題を制限し、一般的実務に基づいた妥当性の高い範囲とすること。

7 設計製図試験における作図手法の現代化

実務の主流である CAD による受験の導入、あるいはフリーハンド作図の許容と採点基準の明確化を行い、鉛筆書きの技能習得に要する過度な負担を軽減すること。

◆建築士定期講習のお知らせ◆ ～忘れてませんか！～

平成20年施行の建築士法の改正により、建築士事務所に所属する全ての建築士は、登録講習機関が行う定期講習を3年以内に受講することが義務付けられております。

以下の方は、令和8年度末（令和9年3月31日）までに受講する必要があります。

- ・建築士事務所に所属し、令和5年度に定期講習を受講した方
- ・令和5年度以前に建築士試験に合格し登録を行ったが未受講の方

今年度の秋田県建築士会が行う定期講習は次のとおりです。講習会の開催は、当会における主要な事業となっております。建築士会員は、当会主催の対面講習受講していただきますようお願いいたします。

第2回定期講習（1E-02）

日 時 令和8年10月7日（水）
場 所 北秋田市民ふれあいプラザ
定 員 60名
申込期間 7月1日～9月30日 締め切り

第3回定期講習（1E-03）

日 時 令和8年11月11日（水）
場 所 大仙市大曲地域職業訓練センター
定 員 60名
申込期間 8月25日～10月30日 締め切り

第4回定期講習（1E-04）

日 時 令和9年3月3日（水）
場 所 秋田テルサ 5階 会議室
定 員 60名
申込期間 11月4日～2月19日 締め切り
※申し込みは、（公財）建築技術教育普及センター HPから

◆既存住宅状況調査技術者講習【更新講習】のお知らせ◆

宅地建物取引業法の改正に伴い、平成30年4月から建物状況調査等に関する措置が施行されました。改正宅建業法の重要説明事項説明の既存住宅状況調査をするには、この講習会を終了し、登録されることが必要です。

また、令和5年度（2021年）の講習を受講された方は、登録を継続するために今年度中に更新講習を受講する必要があります。

講習会の講座内容およびカリキュラムは、（一社）日本建築士会連合会のホームページをご覧ください。

日 時 令和8年11月30日（月） 講習時間 13：30～16：45
場 所 秋田テルサ 5階 会議室
定 員 40名

※申し込みは、（公社）日本建築士会連合会HPから
尚、『新規講習』を受講される方は、オンライン講習を受講してください。

◆第48回（一社）秋田県建築士会大会 能代山本大会◆

今年度の県大会は、能代山本建築士会が主管です。概要は以下のとおりです。多くの皆様の参加をお待ちしております。

大会テーマ 「木都から未来を築くー建築がつなぐ 人・まち・地域ー」
日 時 令和8年11月7日（土）
場 所 能代山本広域交流センター
会 費 無料（※但し、懇親会参加費は7,000円）
次第（予定） 12：30～ 受付
13：00～13：30 式典
13：45～14：30 基調講演「木都能代の歴史と井坂直幹氏」
講師：佐藤忠良（井坂記念館館長）
14：40～16：00 パネルディスカッション
18：00～ 懇親会
◇詳細は、建築士会HPをご覧ください。
※申し込みは、各地域会で取りまとめますので地域会に申込みください。

◆令和8年度 優良建物見学会◆

全県大会の翌日に能代山本地域において、優良建物見学会を開催いたします。

見 学 先 井坂記念館、マルコビルディング、中国木材能代工場
日 時 令和8年11月8日（日） 8：45～12：30
集 合 秋田県能代山本地域振興局 駐車場
会 費 無料

◇詳細は、建築士会HPをご覧ください。
※申し込みは、各地域会で取りまとめますので地域会に申込みください。



井坂記念館



マルコビルディング



中国木材能代工場

◆令和7年度 木造住宅耐震診断支援事業の概要について◆

市町村が実施する木造住宅耐震診断事業において、当会が診断士を派遣した昨年度の状況は以下のとおりです。

1. 受託状況

12市町村と委託契約締結。24戸の実績。(令和6年度は47戸)

・鹿角市 2戸	・大館市 3戸	・北秋田市 0戸	・小坂町 0戸
・能代市 1戸	・男鹿市 3戸	・五城目町 0戸	・八郎潟町 1戸
・秋田市 5戸	・由利本荘市 1戸	・大仙市 2戸	・横手市 3戸
・美郷町 1戸	・仙北市 2戸	・湯沢市 0戸	

2. 診断結果

・最高評点0.69 ・最低評点0.04 ※平均評点 0.28

3. 地域別の登録診断士数

○登録診断士数 計56名

・鹿角 3名	・大館北秋田 8名	・能代山本 6名
・男鹿市 2名	・秋田中央 8名	・由利 3名
・仙北 13名	・横手 11名	・湯沢雄勝 2名

○現在登録されている診断士の人数において地域的なばらつきがあり、各地域で若干の診断士数の増員が望ましい。

◇秋田県耐震診断技術者の登録（更新）について

秋田県では、木造住宅の耐震化の促進に向けて、住宅を所有する方が安心して耐震診断を受けられるように、耐震診断を実施する上で必要な知識・技能を有する建築士を「耐震診断技術者」として登録し公開しております。

令和9年3月31日で登録期限を向かえる方は、更新手続きが必要となりますので、忘れずに更新してください。

◇窓口 秋田県建設部 建築住宅課 建築指導班 電話：018-860-2565
URL：<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/22034>

◆建築士会 CPD 制度活用と手数料改定のお知らせ◆

経営事項審査の審査基準の改定により、審査の際に継続教育（CPD）が評価対象として加点されることとなりました。その組織に所属する CPD 参加者が一定の単位を修得した場合（12 単位 / 年）に加点することができます。この機会に建築士 CPD 制度に参加しませんか。参加者の皆様には、次年度の更新について地域会を通じてご案内しております。（期限：毎年 2 月 18 日まで）

1. 参加登録方法

建築士会 CPD 制度に参加を希望する建築士等は、本部事務局および各地域建築士会で所定の手続きと所定の費用を納めて参加登録をします。

2. 参加申込書、及び CPD カードの作成申込書

建築士会で定める「建築士会 CPD 制度参加登録申込書」（様式第 1 号）に必要事項を記入の上、建築士会の定める費用を添えて申し込みます。

◆費用一覧◆（税込）

費 用	内 容	会員※ ¹	賛助会員※ ²	非会員
①初期登録費	サーバーに個人履歴を蓄積可能とする設定費。【参加初年度のみ】	0円	1,100円	3,300円
②データ登録・管理費	研修プログラムの出席データの登録およびそれら履歴を適正に管理するための費用。【毎年、必要】	550円	2,750円	7,700円
③CPDカード発行費	研修プログラムにおける出席データ登録のために必要なCPDカードの1枚あたりの作成費用。【原則1人1枚発行】	770円	1,650円	2,200円
④CPD実績証明書発行費	個人履歴に基づき、証明書の交付を受けるための1通あたりの費用。	550円	1,100円	3,300円
⑤事後申請データ登録費	CPDプログラムの認定は、事前認定が原則ですが、特例として建築士会が認める場合に、個人の申告によりCPD単位を申請し、単位認定を受けるための費用。【1申請1プログラム当たりの費用】。	550円	1,650円	3,300円
⑥建築CPD情報提供制度利用費	建築CPD情報提供制度（事務局：（公財）建築技術教育普及センター）の活用を希望する場合にかかる費用。【毎年1回必要であるが、秋田県は初回のみ】	550円	550円	550円

※1：正会員および準会員（施工管理技士等） ※2：賛助会員が所属する建築士等

◆参考：『建築士会 CPD 制度参加者ガイドライン』日本建築士会連合会

（一社）秋田県建築士会の HP よりダウンロードしてください。

◆参加登録後に、個人の CPD 番号とパスワードが発行され、CPD 情報システムが活用することができます。

◆建築士会のこれからについて『意見・提案募集！』◆

昨今の建築士会の運営は、会員の減少等により全国的に事業の規模縮小の傾向にあることはご承知のとおりです。建築士試験合格者の減少も大きな要因です。会員も高齢化が進み、若年会員の入会が非常に少ない状況にあり会員数の減少に歯止めがかかりません。

昨年度に引き続き、本誌上にて『魅力ある建築士会するために何をすべきか～ 提案募集』を行います。

つきましては、秋田県建築士会の運営について様々な角度からのご意見・ご提案を募集いたします。多くの会員よりの声をお待ちしております。

・提出先 （一社）秋田県建築士会 事務局

E-mail：Ak-jimukyoku@akitakenchikushikai.or.jp

FAX：018-827-3873

建設業法第26条に基づく

監理技術者講習

建築士会
CPD認定
プログラム

監理技術者講習とは

建設工事に配置される監理技術者には、直近5年以内に監理技術者講習を受講していることが建設業法で義務付けられています。本会の講習は講義内容を建築工事主体で行います。受講は監理技術者の方々や、これから監理技術者になる予定の方のほか、施工分野に就く方や設計分野の方などが、施工の知識を得るための学習目的でも受講申込みが可能です。

特色

- ・業界実務者、学識経験者の執筆による実務的なフルカラーテキスト。新たな設備工事も充実
- ・CPD単位の大量取得が可能
 - ① 本会の講習受講で6単位 (CPD情報提供制度) 取得
 - ② 建築士会CPD参加によりWEBでの問題回答で本講習受講後5年間、最大18単位/年を取得
- ・簡単な申込み

日本建築士会連合会HPでトップページのバナー「監理技術者講習」から、日程の検索及びお申込みができます。スマートフォンからでも簡単にお申込みができます。右のQRコードを読み込んで、すぐにアクセス可能!!



オンデマンド講習

開催

4月より毎月開催、各月に1か月間の受講期間を設定。期間内にご自身のタイミングで受講可能。

受講手数料

WEB申込のみ 9,500円
(テキスト代・消費税込)

※詳細につきましては、HPにてご案内しております。

《秋田県建築士会会員の皆様へ》

秋田県建築士会では令和8年度より、当講習会を実施します。本講習は、建築工事を主体とした内容となっております。建築士会会員で監理技術者講習受講が必要な方は、ぜひ当講習会を受講ください。

◆秋田県開催は、オンデマンド講習のみとなっております。◆

秋田県建築士会 018-827-3718

お申込み・お問い合わせ先

公益社団法人 日本建築士会連合会 監理技術者講習本部

国土交通省監理技術者講習登録講習機関第12号

TEL:03-3456-2061

E-mail: kanri@kenchikushikai.or.jp www://kenchikushikai.or.jp

編集後記

秋田中央建築士会 加藤 一成

これからの建築実務においては、生成 AI や BIM をはじめとする DX 技術の活用が不可欠であり、設計者の役割や業務内容は大きく変化していくと感じています。遅まきながら、いよいよ「自分ごと」として本格的に向き合う時期が来たと実感する今日この頃です。

従来の設計業務では、意匠・構造・設備間のデータ調整や法規適合確認に多くの時間を費やしていました。しかし、BIM の進化と標準化により、3次元モデルへコストや維持管理情報まで一元化することが可能となりました。これにより各フェーズでの合意形成が格段にスピーディとなり、手戻りの少ない効率的なプロセスが実現しつつあります。弊社においても 2017 年より BIM を導入しておりますが、現状はモデリングや作図の域を出ておらず、機能を十分に使いこなせているとは言えません。

また、生成 AI の登場は概念設計のあり方を劇的に変えつつあります。膨大なデータをもとに AI がスケッチや空間パターンを即座に提案することで、建築士はより本質的・探索的な検討に集中できるようになりました。今後は生成 AI と BIM の連携により、設計初期における高精度なシミュレーションも可能になるでしょう。ただ、私個人としては文章作成の補助や初期イメージの確認程度での活用にとどまっており、今後のさらなる探求が必要だと実感しております。

今後、BIM データによる確認審査の本格化も見込まれ、デジタル対応は避けて通れません。かつて手描きから CAD へ移行したのと同様、BIM への対応もまた不可避と言えます。少子高齢化や資材価格の高騰など厳しい情勢は続きますが、最新技術を活用しながら、建築士ならではの「空間の価値」を研ぎ澄ますことが今まさに求められています。

秋田県建築士会の一員として、常に最新の技術動向に目を配りつつ、地域の安全と豊かな住環境を守る仲間として皆様との絆を深めてまいりたいと考えております

秋田県建築士会 スナップ

- ・ 3月8日 国土交通省へ請願書を提出



右から、富樫衆議院議員、工藤県議会議員、宿本住宅局長、小田島会長、村田会長

- ・ 6月24日 「建築士の日」記念事業 PR



記念事業 PR CANにて 谷口事業副委員長と徳光青年委員長

- ・ 7月19日 全国女性建築士連絡協議会



日本建築士会連合会 古谷会長を囲んで

- ・ 7月4日 「建築士の日」記念事業 親子体験学習



かなづちで釘打ちに挑戦



テーブルが見事完成 ピース！



淡路孝次氏 旭日小綬章受賞を祝う会（令和8年3月19日）

あきた建築士会ニュースNo.166（2026年9月号）

発行／一般社団法人秋田県建築士会 住所／〒010-0001 秋田市中通二丁目3-8 秋田アトリオンビル5階（一財）秋田県建築住宅センター内 電話／018-827-3718
 編集／一般社団法人秋田県建築士会事務局 発行日／令和8年9月24日 印刷／秋田協同印刷株式会社